

## 令和2年度 第2回 台東区地域包括支援センター運営協議会 議事概要

日 時：令和3年2月22日（月） ※新型コロナウイルス感染防止対策のため書面開催

出席者：18名

新田会長 須田副会長 加藤委員 木山委員 奥沢委員 鬼久保委員 山村委員  
石井委員 宮本委員 小竹委員 上野委員 澤瀉委員 柴田委員 和泉澤委員  
高木委員 原嶋委員 齋藤委員 小竹委員

### ●地域包括支援センターごとの人口状況

戸籍住民サービス課が発表している令和2年1月1日現在の『住民基本台帳による町丁名別・年齢人口』を地域包括支援センターの圏域ごとに集計したものです。

①老年人口（65歳～）を前期高齢者（65～74歳）と後期高齢者（75歳～）で分類すると、すべての地域で、すでに後期高齢者が上回っている状況です。

また、『第8期台東区高齢者保健福祉計画・台東区介護保険事業計画』における人口推計によると、65歳以上の高齢者は今後10年間減少する見込みとなっておりますが、後期高齢者は今後5年間増加する見込みとなっており、ますます医療・介護サービスに対するニーズが増えていくことが予想されます。

### ●第8期台東区高齢者保健福祉計画・台東区介護保険事業計画について 資料1

『高齢者をはじめ、誰もが尊厳を守られ、いきいきと安心して自立した生活を続けられるまち』『多様性が尊重され、住み慣れた地域全体で、助け合い支え合えるまち』を基本理念とし、第8期計画を策定いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響で、外出自粛による高齢者の活動量（運動量）の低下やストレスから心身のバランスを崩す高齢者が増加していることが予想されています。実際の相談内容からも「運動できてない」「会話量が減っている」などの不安を訴える声も届いていますが、地域における様々な活動やイベントが中止となるなど、高齢者の生活環境は一層深刻な状況となっています。

地域包括支援センターは、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援が一体的に提供される『地域包括ケアシステム』の中核的な機関として位置付けられており、地域での見守り活動や介護予防などの重要な役割を担っています。

区は地域包括支援センターと協力し、困難な状況下においても可能な限り、計画した事業を着実に実施し、区民の生命と健康を守り抜くための取り組みに繋げていきます。

●令和3年度 台東区地域包括支援センター運営方針について 資料2

令和3年度は大きな変更は行っておりませんが、実情に即した形で文言の変更や追加を行います。(下線部が変更・追加点)。

【委員からの意見】

- ・業務が多く多忙だと思う。
  - ・コロナ禍の様々な対応、取り組みありがとうございます。
  - ・P5.3-(3)リハ専門職とのネットワーク構築・充実に向けて協力できる点があると思われ、効果的に活用願いたい。
  - ・住み慣れた地域で暮らせるよう、又、介護者の負担軽減の取り組み、支え合いの仕組みづくりを推し進めていると感じます。
  - ・まとまっていると思いました。理念もわかり特に意見はありません。
  - ・地域包括支援センターにおいては、業務への理解と協力を得るために、地域住民及び関係者への積極的に業務内容を告知する広報活動を。特に、各町会や区のシニアクラブへのアプローチ。介護予防・地域支援課と地域包括支援センターの活動内容が区民に知れ渡るのでは。
- ⇒(回答) 介護予防・地域支援課や地域包括支援センターの業務・事業について、各イベントや各種団体の会議等を活用し、周知を行ってまいります。

## ●令和3年度 台東区地域包括支援センター事業計画書について 資料3

各地域包括支援センターが、新型コロナウイルス感染症を考慮し、次年度の計画書を作成したものです。

認知症カフェや高齢者宅への見守り訪問・高齢者に関する総合的な相談等、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、事業を実施していきます。

### 《主な取組》

- ・あさくさ地域包括支援センター・やなか地域包括支援センターは、災害対策の強化。
- ・みのわ地域包括支援センター・まつがや地域包括支援センターは、認知症の方への支援や介護予防への働きかけ。
- ・くらまえ地域包括支援センター・ほうらい地域包括支援センターは、関係機関との連携強化。
- ・たいとう地域包括支援センターは、近隣のスーパーマーケットやボランティア、社会福祉協議会と協力し高齢者の買い物支援方法の検討。

### 【委員からの意見】

- ・特に異論はありませんが、認知症への対応の重要性がますます強まっていると思います。（民間を含めた）他機関との連携強化が望まれます。  
⇒（回答）認知症疾患医療センターの他、区内介護事業所や関係協力機関との連携を強化してまいります。
- ・P3. ③具体的取り組み→防火防災の器具設置→大変良い事。具体的に家の中に入り点検と設置は大変とは思いますが、実施してほしい。
- ・P9. ②入谷老人福祉館の高齢者の集う場所への出前講座計画実現してほしい。
- ・P11. ③買い物支援方法検証。一般新聞でも話題になっている所です。具体的な方法が実施されることを望みます。
- ・令和3年度は三密を避け、少人数での集まりを7包括で計画しているようなのでぜひ参加したい。
- ・P11-12. たいとう地域包括支援センターにて検証予定であるインターネット環境を利用した買い物については、それ以外にもネット環境を活用した他事業や関わりに波及効果があると思われ動向を注視したい。
- ・P5. 地域の特性や特色を活かした事業計画でよくできています。特に『みのわ』は具体的な表現で分かりやすいです。
- ・各エリアで新型コロナウイルス感染防止対策があるのがよろしいかと思います。当事者全員の共有意識が大切です。

## ●地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について 資料4

令和元年度の取り組み・対応実績を国の定めた指標に基づき評価したものです。

現在、家族介護者からの相談件数・内容を把握するために各地域包括支援センターの集計項目の追加・見直しを行っています。

また、市町村レベルの関係団体（民生委員等）の会議への参加（関係課と協議中）等事業の見直しを行っております。今後も改善に向けて取り組んでまいります。

### 【委員からの意見】

・P1～3について2-(3)が低い点はどこに原因があるのでしょうか？（内容、対応を拝見してもしっかりと対応していると思うのですが）

⇒（回答）現在各種改善に向けて準備を進めております。2-(3)については、令和2年度、令和3年度で改善する予定となっております。

・2-(2)については、他機関の関わりが多い分、問題の解決に繋がっているのではないかと思います。

・コロナ禍の中、各センターとも感染症対策、利用者等の対応に大変ご苦労されていることと思いますが、孤独を感じている高齢者も少なからずいると思いますので、そのあたりのケアもお願いできればと思います。

⇒（回答）対面での訪問が難しい状況の中、ICTの活用を検討する等、ウィズコロナ時代の見守りを進めてまいります。

・各事業者の評価が、各項目とも改善されてきていると思います。コロナ禍で地域ケア会議の開催が難しかったと感じました。

・事業評価は悪くない様子。P13. 個人情報の取り扱いは注意が必要。